

(共有コード No. ob2ddVQKqMnJgtouHJTz9Ky)

## 授業の詳細がわかる『授業デザイン案』(小学2年生算数)

～オクリンクを活用して、かけ算の性質やきまりに気づき、日常生活に活かす実践～

### 1 単元名

九九をつくらう(東京書籍「新しい算数2下」)

### 2 単元の指導目標

- (1) 身の回りにある同じ個数のものの集まりを知りたいとき、数えるのではなく乗法で求めることで簡単に知ることができるという乗法のよさを生かし、日常生活で活用しようとする。
- (2) 身の回りに隠れているかけ算を見つけ、計算する。
- (3) 数のまとまりに着目し、乗法を活用する場面を想起しながら、日常生活に活かす方法を考える。

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
・乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九を構成し、確実に唱えたりすることができる。	・数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え、工夫し、表現している。	・数学的に表現、処理したことをふり返り、数理的な処理や、乗法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。

### 4 本単元の POINT

第1学年で、加法の意味について理解することや、その計算の仕方を考えることを学習してきた。また、数のまとまりに着目し、数を2つずつ、5つずつなどの同じ大きさの集まりにまとめて数えることを学習している。

そのため、身の回りにある同じ個数のものの集まりの数を知りたいとき、数えるのではなく乗法で求めることで簡単に知ることができるという乗法の良さを活かし、日常生活で活用しようとする児童の姿が期待できる。

### 5 単元(全18時間扱い)

(1) 本時(第9時)までの学習記録

第1・2・3時 6の段の九九の構成について理解し、自分で問題を作れるようになる。

第4・5・6時 7の段の九九の構成について理解し、自分で問題を作れるようになる。

第7・8・9時 8の段の九九の構成について理解し、自分で問題を作れるようになる。

(2) 本時について

●本時  
第9時

●目標

九九の問題づくりを行い、お互いに問題を解き合うことで、8の段の九九の理解を深める。

●本時の学習計画

- ・ 8の段の問題を作るポイントを見つける。
- ・ まずは自力解決を目指す。
- ・ グループで考えを発表し、解き合い、共同解決する。
- ・ 8の段の問題は、8のまとまりを見つけて作るとよいことにたどり着く。

●本時の評価規準

数量の関係に着目し、乗法の用いられる場面をとらえ、言葉で説明することができる。

(3) 本時後の学習計画

第10・11時 9の段の九九の構成について理解し、自分で問題を作れるようになる。

第12時 1の段の九九の構成について理解し、自分で問題を作れるようになる。

第13時 九九の表を使いながらきまりを見つける活動を行う。

第14時 乗法の性質やきまりを見つけて、説明することができる。

第15時 身近なもの（長さなど）を参考に、基準量の何倍かを考えることができる。

第16時 総合的に九九を活用しながら、ものの数の求め方をかけ算を使って考えることができる。

第17・18時 総合的に九九を活用しながら、ものの数の求め方をかけ算を使って考えることができる。

6 本時（全18時間中の9時間目）

(1) 本時の目標

グループで九九の問題づくりを行い、お互いに問題を解き合うことで、8の段の九九の理解を深める。

(2) 本時の展開

時 間	○学習内容 ・学習活動 T：教師 C：子ども	○指導上の留意点 ★評価	ミライシード活用 POINT
--------	---------------------------	--------------	----------------

導入 (5分)	<p>○本時の問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【学習問題】</b>  <b>★★</b>が、野さい売り場にか          け算をさがしにやってき          ました。8のだんのかけ算          をさがしましょう。</p> </div> <p>T：かけ算の式の意味は何でし          たか？</p> <p>C：(1つ分の数) × (いくつ分)          = (全部の数)、(かけられる数)          × (かける数) = (全部の数)          という意味もありました。</p> <p>C：(1つ分の数) は問題に書い          てある時に、“ずつ”という言葉          がよくついていました。</p>	<p>○前時までの復習をする。</p> <p><b>【「問い」を生み出す手立て          等】【心得1】</b></p> <p>○6の段、7の段で取り組ん          できた問題作りを想起させ          る。</p> <p>○野菜コーナーのイラストを          提示し、どんな問題を作ろう          かという「問い」を持たせる。</p> <p><b>【課題解決に向けた見通しを          持つ手立て】</b></p> <p>○これまで学習してきたかけ          算の式の意味を確認し、学習          の見通しを持たせる。</p>	
<p><b>【めあて】</b> 8のだんのもんだいをつくるために大切なことを見          つけよう。</p>			

展開  
(30分)

○自力解決する。  
C：ピーマンが1袋に8個入っていますというのを利用しよう。  
C：ニンジンが1袋に6本というのは8の段になるのかな？  
C：トマトの袋は、8個は入っているものもあれば6個入っているものもあるからかけ算が作れないな。

○共同解決する。  
T：グループで考えを発表し、解き合う。お互いの問題を解いてみましょう。  
C：友だちの問題を解いてみたら、うまく8の段になったよ。  
C：僕の問題は、6の段の問題になってしまった。どうしてかな。

**【期待される学びの姿】**  
作った問題を解き合うことで、かけ算の式の意味の理解を深めている。

○全体共有する。  
T：グループでうまくいったなという問題を発表してください。  
T：この問題がうまくいかなかったのはどうしてかを考えましょう。  
C：“ずつ”がついているのが、6の段になっている。  
C：すべて同じ数が入っていない

○オクリンクに自分が考えた問題を書かせる。  
○終わった児童は、さらに多くの問題作りをさせていく。

**【個に応じた支援】【心得2】**  
○1袋あたりや1パックあたりに野菜をまとめたイラストをもとに考えるよう支援する。  
○悩んでいる児童には、定型文を活用し、文章を考えられるようにする。

**【言語活動の設定および設定の意図】【心得3】**  
○オクリンクで、グループの友だちに自分が考えた問題を送信し合い、問題を解き合う。  
○複数の問題を考えた児童は、自分の考えの中で一番おすすめなものを1つ選ぶ。  
**【課題解決に粘り強く取り組もうとするための手立て等】**  
○こうしたらうまくいった、こうしたらうまくいかなかったと2つのポイントで話し合わせる。

○グループで解き合う中で、8の段になった問題を全体に共有するようにする。  
○8の段以外になる問題やかけ算の問題にはできないものを教師から提示し、どこがいけないのか、どうしたら8の段になるのかを考えさせてい

○共有したカード



もんだい

---



---



---



---

しき

答え

もんだい

\_\_\_\_\_ が、1ふくろに \_\_\_\_\_ ずつ  
あります。そのふくろが、 \_\_\_\_\_ ふくろ  
あります。

\_\_\_\_\_ は、ぜんぶで何 \_\_\_\_\_ ありますか。

しき

答え

	<p>くてはいけないのに、数がバラバラになっている。</p>	<p>く。 ○まとめの言葉は、穴うめ形式として教師が提示し、空白を児童に自分の言葉でまとめさせる。</p>	
<p>まとめ (10分)</p>	<p>○適用問題を解き、本時の学習を振り返る。</p> <div data-bbox="188 472 970 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【まとめ】8のだんのもんだいは、8のまとまりを見つけて作るとよい。</p> </div> <div data-bbox="188 741 544 949" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★【具体の評価規準】 <b>思考・判断・表現</b> 数量の関係に着目し、乗法の用いられる場面をとらえ、言葉で説明することができる(評価問題)。</p> </div>	<p>○本時の課題と類似した適用問題を出題し、目標が達成できたか確認する。</p> <p>【到達していない児童への手立て】</p> <p>○解答を2つ用意しておき、どちらかを選択させ、その後どうしてその解答を選んだのか、言葉や図で説明できるようにする。</p>	

(3)授業評価の観点 (事後検討会の議題例)

- ・オクリンクを活用し、6つの図の中から自分で選択させることで「やってみよう」という意欲を高めることは有効だったか。
- ・オクリンクを活用し、互いの考えを書いたシートを相互に送信させることで、班活動で「はっきり表現」させる場を設定することは有効だったか。